

2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月3日

 上場会社名 りらいあコミュニケーションズ株式会社
 コード番号 4708 URL <http://www.relia-group.com/>

上場取引所 東

 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 網野 孝
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 岩本 健一郎

TEL 03-5351-7200

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	27,829	3.5	1,132	19.8	1,168	20.1	576	3.8
2018年3月期第1四半期	26,876	20.7	945	29.6	973	27.4	555	37.4

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 855百万円 (%) 2018年3月期第1四半期 200百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	8.37	
2018年3月期第1四半期	8.06	

(参考) のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2019年3月期第1四半期 995百万円 (0.1%) 2018年3月期第1四半期 994百万円 (11.7%)

調整後EPS 2019年3月期第1四半期 14.45円 2018年3月期第1四半期 14.44円

(注) 調整後EPS : のれん償却前当期純利益 / (期末発行済株式数 - 期末自己株式数)

四半期においては、「当期」を「四半期」、「期末」を「四半期末」に読み替えて計算

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	63,208	45,885	72.6	665.64
2018年3月期	67,123	48,248	71.9	699.89

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 45,876百万円 2018年3月期 48,236百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		18.00		18.00	36.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		18.00		18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	4.7	6,100	15.3	6,100	14.1	3,800	11.5	55.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) のれん償却前当期純利益 2019年3月期通期 5,500百万円 (6.9%) 調整後EPS 2019年3月期通期 79.80円

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2 社 (社名) SPi Global (Nicaragua) Solutions,S.A., CRM US,Inc. 、 除外 1 社 (社名) 株式会社ボイスネクスト

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	69,503,040 株	2018年3月期	69,503,040 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2019年3月期1Q	582,171 株	2018年3月期	582,144 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期1Q	68,920,895 株	2018年3月期1Q	68,920,896 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は緩やかな拡大を続けました。また、海外経済は総じて着実な成長を続けました。当社グループが属するBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)業界では、労働需給の引き締めや生産性改善など、企業が直面する課題を解決するためのアウトソーシング需要が堅調に推移しました。

こうした中、当社グループは「中期経営計画2020」に基づく施策を着実に推進いたしました。当第1四半期連結累計期間においては、アルバイトを含めた従業員に対し「長期障害所得補償制度」を導入したほか、札幌市に「さっぽろ創世スクエアセンター」を開設するなど、堅調な需要に応えるべくグループの提供能力の拡大を図りました。

売上面では、前年同期にあった官公庁向けスポット業務終了の影響があったものの、継続業務では公益、金融向けを中心に昨年度から続くアウトソーシング需要を取り込み、底堅く推移しました。また、海外連結子会社は昨年度に立ち上げた米国第2センターでの業務が拡大しました。利益面では、前年同期にあった官公庁向けスポット業務終了の影響があったものの、既存業務の生産性改善や受注の拡大などで補いました。また、株式会社ボイスネクストの譲渡及び投資有価証券の評価損に伴う特別損失を計上しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高27,829百万円(前年同四半期比3.5%増)、営業利益1,132百万円(同19.8%増)、経常利益1,168百万円(同20.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益576百万円(同3.8%増)となりました。

また、当第1四半期連結累計期間ののれん償却前営業利益(営業利益+のれん償却費)は、1,551百万円(同12.0%増)、のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却費)は、995百万円(同0.1%増)となりました。

なお、当社は中期経営計画の達成に向けM&A等を通じた事業基盤の強化、拡大を志向しております。これによる現金流出を伴わないのれん償却費用の影響等を鑑み、のれん償却前営業利益、のれん償却前純利益を経営指標として採用しております。

セグメント別の業績は以下の通りです。

コンタクトセンター事業

公益、情報、流通向けを中心に業務が開始、拡大しました。また、海外連結子会社では米国第2センターでの業務が拡大しました。以上の結果、当事業の売上高22,607百万円(同5.5%増)となりました。

バックオフィス事業

金融向けを中心に継続業務が拡大しましたが、前年にあった官公庁向けスポット業務が終了した影響から、当事業の売上高は3,642百万円(同7.4%減)となりました。

フィールドオペレーション事業

事業の体質改善を目的に選別受注を進めるなどした結果、当事業の売上高は1,579百万円(同4.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、63,208百万円となり、前連結会計年度末比3,914百万円の減少となりました。主な増加は、仕掛品48百万円、有形固定資産217百万円であり、主な減少は、現金及び預金1,000百万円、受取手形及び売掛金813百万円、のれん1,417百万円、投資その他の資産1,284百万円です。

負債は、17,323百万円となり、前連結会計年度末比1,551百万円の減少となりました。主な増加は、賞与引当金414百万円であり、主な減少は、買掛金377百万円、短期借入金530百万円、未払法人税等1,293百万円です。

純資産は、45,885百万円となり、前連結会計年度末比2,363百万円の減少となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益576百万円であり、主な減少は、剰余金の配当金による支払1,240百万円、為替換算調整勘定1,375百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の71.9%から72.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に「平成30年3月期 決算短信」で開示いたしました業績予想に変更はありません。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありましたSPi Global (Nicaragua) Solutions, S.A. 及びCRM US, Inc. は、重要性が増したことにより連結子会社として連結の範囲に含めております。

また、連結子会社でありました株式会社ボイスネクストは、保有株式売却に伴い連結の範囲から除外しております。

この結果、2018年6月30日現在で、当社グループの連結子会社は10社、持分法適用関連会社は2社となりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,270	15,270
受取手形及び売掛金	17,867	17,053
仕掛品	1,260	1,309
貯蔵品	32	26
その他	1,657	1,843
貸倒引当金	△22	△24
流動資産合計	37,066	35,478
固定資産		
有形固定資産	3,787	4,004
無形固定資産		
のれん	15,345	13,927
その他	600	757
無形固定資産合計	15,946	14,685
投資その他の資産	10,323	9,039
固定資産合計	30,056	27,729
資産合計	67,123	63,208
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,345	2,968
短期借入金	2,530	2,000
未払金	7,390	7,050
未払法人税等	1,519	226
賞与引当金	839	1,254
役員賞与引当金	34	9
その他	1,907	2,473
流動負債合計	17,567	15,982
固定負債		
役員退職慰労引当金	20	20
退職給付に係る負債	309	335
資産除去債務	968	976
その他	9	9
固定負債合計	1,307	1,340
負債合計	18,874	17,323

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	998	998
資本剰余金	1,112	1,112
利益剰余金	44,528	43,598
自己株式	△592	△592
株主資本合計	46,046	45,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	29
繰延ヘッジ損益	111	46
為替換算調整勘定	2,226	851
退職給付に係る調整累計額	△176	△168
その他の包括利益累計額合計	2,190	759
非支配株主持分	11	8
純資産合計	48,248	45,885
負債純資産合計	67,123	63,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	26,876	27,829
売上原価	23,170	23,836
売上総利益	3,705	3,992
販売費及び一般管理費	2,760	2,860
営業利益	945	1,132
営業外収益		
受取利息	17	5
受取配当金	9	3
受取補償金	—	38
その他	20	16
営業外収益合計	46	63
営業外費用		
持分法による投資損失	16	—
為替差損	—	26
その他	1	1
営業外費用合計	18	27
経常利益	973	1,168
特別損失		
固定資産売却損	5	0
関係会社株式売却損	—	89
投資有価証券評価損	—	344
その他	—	30
特別損失合計	5	465
税金等調整前四半期純利益	967	703
法人税、住民税及び事業税	262	120
法人税等調整額	149	8
法人税等合計	412	128
四半期純利益	555	575
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	555	576

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	555	575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80	1
繰延ヘッジ損益	11	△64
為替換算調整勘定	△862	△1,373
退職給付に係る調整額	13	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	△756	△1,430
四半期包括利益	△200	△855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△200	△854
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンタクトセ ンター事業	バックオフィ ス事業	フィールドオ ペレーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,437	3,932	1,506	26,876	—	26,876
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	10	19	30	△30	—
計	21,438	3,942	1,525	26,906	△30	26,876
セグメント利益 又は損失(△)	630	331	△17	945	△0	945

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンタクトセ ンター事業	バックオフィ ス事業	フィールドオ ペレーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,607	3,642	1,579	27,829	—	27,829
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	4	3	8	△8	—
計	22,608	3,647	1,582	27,838	△8	27,829
セグメント利益	914	197	20	1,132	0	1,132

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。